



読字 原田 親

No. 617

2010/10/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0045 東京都千代田区  
西船場1-1-1 第2ビル433室

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8236  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8011  
倉敷市港島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:086146-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 日中友好協会創立60周年記念岡山集會

### 65人の出席で盛大に開催

#### 岡山支部・倉敷支部の共催で

9月26日岡山支部と倉敷支部の共催で、日中友好協会創立60周年記念岡山集會を開催しました。各方面からの参加者は65人に上り盛大な会となりました。矢崎光晴本務局長の記念講演「日中友好運動の歴史」をはじめ、日中太極拳の表演、沖繩の三線演奏、オカリナ演奏、矢崎事務局長の蒙古踊りなど多彩で楽しく、運動にたいする確信を新たにするとする記念集會となりました。

### 開会のあいさつ

竹内和夫

こんにちは。本日は、日中友好協会創立60周年にあたり、会場あふれんばかりの各方面のみなさんにおいでいただき感謝しております。

東京から岡山に来て34年、日中友好運動にかかわることになりました。この間、留学生や元残留孤児のみなさんをはじめとして、本当にたくさんの方々のお力添えをいただけてきました。

ともにたたかい、はげましてくださった、わすれえぬ人々のなかから、5人の方を思い出してみたいとおもいます。

一番目に野村増一さん。野

村さんは日朝協会などアジアの人々との友好に力をつくされ14年前になくなられました。ここにかかげてある額は、内山完造さん直筆の「日中友好」で、野村さんの遺品としてひきついたものです。岡山支部へ郵其山(ウチャマ)となつています。

二番目に横治昭二さん。横治さんは満蒙開拓団で苦勞され、若くして23年前になくなられました。横治さんの遺品の中に、ここにかかげた横断幕があります。日中国交回復、日米安保条約破棄です。日本とアメリカの政府は中国を敵視して、22年間にわたり国連からしめだしてました。デモもきびしい状況におかれてました。

三番目には散髪屋の久山専一郎さんです。20年前になく



開会のあいさつをする竹内理事長

### 内モンゴルへの旅(3)

日中友好協会岡山支部中国語講座  
月曜クラスのプチ語学留学



なられましたが、80歳をすぎてもメガネなしで新聞をよみ、バイクにまたがって、集金活動をし、岡山民商をつくり、ユーモアあふれるエス・ランチストでした。治安維持法違反で3年の刑務所ぐらし、モスペラントも国体に反するの「と検事とたたかつたそです。」

四番目は原憲正さん。5年前になくなられましたが、日中のもよおしものに、かならずおいでになり、はげましてくれました。敗戦のとき撫順炭鉱の責任者として残留婦人たちを守り、国民党の将校がピストルを突き付けて「女を出せ」ときたら、

とき、日本の大学を出た、この将校を説得しておいかえしたといひます。命の恩人としたわかれで。

5番目は渡辺啓子さん。今岩手県をやまおおくでスズメとはやおき競争をしているらしい。岡山に太極拳をひろめ、県ニュース「おかやま」をガリ版ではじめた人です。いまや六一五号です。今日の太極拳講習にとつて一番の恩人です。

以上のご紹介をもつて、今後ともいつそのご支援をおねがいし、開会のごあいさつといたします。ともにがんばりましょう。

8月12日から17日まで内モンゴル赤峰市天山旗へ行きました。ここは中国語講座の馬老師の故郷でもあります。旅行前3カ月の講座は、黒板に中国語の聞き取りを書く練習の積み重ねでした。これまで習得した3年分(テキスト2冊)の単語と文法を使つての実践は、果たしてどうなるか? 一抹の不安を抱えながら車窓から見える異国の地「内モンゴル」の風景は、雲ひとつない青空に映える草原がどこまでも続き、解放された牛と羊のコントラストは絶景としか言いようがなかった。車中でうたた寝してまさほど風景は変わつていな



月曜クラス 佐々木和広

いスケールの大きさに驚きながらも長時間走らなくては目的地に着かなかった。14日はかいばつ1700Mの山に登り、巨大な岩の風化による奇岩のかずかず。スケールの大きさは慣れてしまいい観光地に来ている行動でした。プチ語学留学の始まりともいえる馬老師の故郷に到着した。馬一族の熱烈な歓迎を受け「ヘンハウチー、チー、パオラ」ととても美味しい「お腹一杯になった」。習った中国語で精いっぱいのお礼を言ったのを覚えている。最後には私たち全員でお礼のあいさつを述べることができました。現地での買い物を含めて講座の成果は満足していないがプチ達成感がありました。帰国後、新たな目標(脱プチ旅行実践)を立て、楽しい半面きびしい馬老師の講座にこれからも挑戦していきます。

# 第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演・25

中国の場合は日本のようなストーリー漫画というのとはほとんどないですね。わずかなストーリー漫画がここにあげている4番目の絵です。4コマからなっていますね。これは「三毛流浪記」という頭に3本しか髪の毛がない孤児の話なんです。これを延々1930年代から1940年代まで、張楽兵という人な

れる前です。天秤棒をかついで、おじいさんがつれて来たのは売る子どもです。売る子どもにちやんと値段をつけているわけです。「5万元」「7万元」。三毛もそのわきに自分も売りたい、お腹すいているから自分も売りたいと、並んでいるんだけど、ふと気がつくとおもちゃ屋から子どもがお母さんに買って出てくるんですね。ガラス窓を振り返ってみると、その人形は10万元もするんですよ。この時代、国民党時代はデフレで物の値段がどんどん上がつてすごかった。それで、驚く



わけです。人形よりも人間のほうが安いということですね。いかに簡単に子どもが売り買ひされているかという、国民党時代の悲しみを描いている。こういう感じで孤児の三毛がどのようなことをやっていたかというのを延々と描いた漫画です。こういうのはわずかしかなかった。張楽兵の作品しかないんです。つづく

## 第35回中国料理教室 とても楽しい料理教室



### 大家好

今回は9月12日(日)岡輝公民館で28名が参加し、内モンゴル地方の家庭料理4品(餅巻菜、豚肉の蒸し物ほか2点を内モンゴルの出身の馬小菲さんを講師、アシスタント(馬さんの弟

馬英飛、従姉妹「魏方丹」お二方の特別参加もあり、より一層の盛り上がりの中料理を教

中国東北部の家庭料理と言う事で、ナンに肉や野菜を包む餅巻菜、ナスとジャガイモかぼちやの煮物、えのきの和え物、扣肉を作りました。調味料独特の風味が中国らしく、どれもとても美味しく出来上がりました。

ナン作りでは大変盛り上がり、主人は上手にできた大喜び、自信たっぷり、今度は餃子に挑戦すると張り切っていました。(後片付けが大変そうですが、期待せず待つてます(笑))

とても楽しい料理教室でした。

佐々木 真佐恵

### ウラジオストク⇄モスクワ

#### 9288 kmシベリア鉄道の旅②

何と乗り換えた列車にはエアコンが付いていなかったのです。今年は例年になく暑さだそうです。沿線では自然発火して林が燃えて又泥炭に火が付きモスクワは煙でおおわれていました。沿線の風景は時々農家の集落があり、屋根はスレートぶきで建坪は25坪程度でしょうか、生活の厳しさがうかがわれます。行き違う貨車には、木材、石炭、クニクローリーとこのあたりの産業の様子を示しているようです。

場観光をし、地下鉄にも試乗しました。エレベータで地下深くおり乗車します。核シエルターにでも使うのでしょうか。

夕刻ウラジオストク行き9時間のフライトです。夜に飛ぶのに空は明るいままで。北によつていていせいでしよう。

暑さや寒さ列車内のいろいろな不便さはあったけれど、雄大な自然にふれ貴重な体験でした。

河井伸士

### ご協力お願いいたします

帰国者といっしょになって楽しむため、いらなくなった楽器(小学生向けのタンバリン、木琴、リコーダ、鈴など)を提供していただけたらありがたいです。ご協力よろしく願います。

(坪井あき子)

### 夫婦で参加

主人が中国語講座でお世話になっている馬小菲先生が講師で来てくださると聞き、夫婦で初めて参加させていただきました。

次回の新聞発送作業は  
10月12日(火)午後1時半  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

稲葉 吹和  
貝小内 和  
小竹内 袈  
竹内 三垣